

## 第 208号 内容紹介

### 1, 日本 AALA 第 57 大会決議(国際関係部分)

アメリカ帝国主義を世界平和への最大の脅威とし、自立をめざす非同盟運動とグローバルサウスとの連帯を提起。2月14日の続開大会で採択。

### 2, J・クック「西洋植民地主義の復活を宣言したルビオ徹底批判」

トランプ政権の政策目標は、第二次世界大戦まで約5世紀にわたる西洋の植民地秩序を復活させることであるというルビオ米 국무長官。その演説に拍手を送った欧州の指導者たちへの徹底批判。

### 3, M・ルビオ「ミュンヘン安保会議での米 국무長官の演説全文」

白人が植民地支配をするのが当然、国連や法の支配は愚かな考えとってのけた。トランプ以上の確信的「欧米優越主義」演説に世界は驚愕した。

### 4、R・ハリス他「マドゥロ拉致後のベネズエラをどうみるか」

軍事攻撃で大統領を拉致したトランプ政権と対話・交渉をすすめるロドリゲス暫定政権。アメリカ支配への降伏なのか、それとも脅迫をかわす革命の延命なのか。左派連帯組織の見方。

### 5, V・ブラシャド「キューバ革命は米帝国主義に抵抗を続ける」

キューバへの連帯は、キューバ人民のため、キューバ革命のため、アメリカ大陸全体の主権の現実のため、そして世界における社会主義の理念のため、今や帝国主義との闘いの最前線だと訴える。

米の ICE 反対運動、イランの革命勢力の動向などその他の記事は「AALA ニューズ編集日記」で参照できます ([aala news の編集日記 \(livedoonar.jp\)](https://livedoonar.jp))

